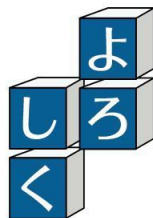


グスディンホールになった
社長に

いましめようへい
前島 洋平さん



形外科、循環器科向け器材が
強み。しかし医療機関は国の
医療費抑制方針を受けて経費
を削減しており、売上高（9
45億円、2015年6月期）
の8割を占める医療器材は厳
しさを増している。

「販路拡大には病院との信
頼関係が不可欠。扱いが難し
い最新機器は自社製の分かり
やすい説明書を添えるなど、
アフターフォローに力を入れ
ていく」

前島智征会長（75）の長男。

岡山大学大学院教授を経て昨年
入社し、取締役から昇格した。
現在も同大病院の診療講師と
して月に1日は診察を行う。

同大学院医学研究科博士課
程修了。岡山市出身。48歳。

（伊東圭一）

医療器材商社など7社を傘
下に置く持ち株会社・カワニ
シホールディングス（岡山市
北区下石井）。腎臓専門医と
して岡山大病院に約20年勤め
た経歴から「医師にとって最
適な器材を提案できるよう、
営業員の育成に力を注ぐ」と
抱負を語る。

9月に就任。社内に設けた
学術本部では自ら講師となっ
て従業員を指導する。「医師
が最新の医療機器を導入する

際、どんな情報を参考にす
るかなどを伝えている」と
言う。
グループは中四国を中心
とする約2500の医療機
関などと取引し、眼科や整

医師経験生かし営業員育成